

## 平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	配水管維持管理事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	送・配水管について
手 段	施設(管路・弁筐・水管橋等)の維持管理をすることにより
想定する成果	安定給水に努める

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
主な事業	本管漏水修繕 15件 4,857	本管漏水修繕 13件 5,379	本管漏水修繕 15件 4,500
	施設修繕(筐等)27件 8,440	施設修繕(筐等)41件12,207	施設修繕(筐等)35件14,000
	その他修繕 5件 1,167	その他修繕 2件 720	その他修繕 5件 1,000

成果指標

成果指標名	有収率	漏水発生件数
成果指標の説明	有収水量 / 配水量 × 100	本管漏水件数

事業の進捗状況 ( 水道企業会計 ) (千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	94.0%
	実績	95.0%	94.7%	-
成果指標	計画	-	-	15件
	実績	15件	13件	-
事業費	事業費	14,583	18,369	19,561
	人件費	12,870	8,562	7,889
	(人数)	1.6	1.1	1.0
	合計	27,453	26,931	27,450
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	27,453	26,931	27,450

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	維持管理事業であり良好に管理されている。
経済効率性	3	3	3	3	事業としては必要であるが、漏水事故件数を減らすことによりコスト低減が図られる。
事務効率性	2	2	2	2	漏水等突発的に発生する事故により、計画的に事務が進められない場合あり。
必要性	-	3	-	3	維持管理事業
小計	8	11	8	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	配水管の維持管理することにより、水道水の安定給水が図れる。
合計	11	11	11	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	B	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
公道及び屋内で発生する漏水修繕等、緊急を要する業務に対応する為、待機当番業務を市内水道業者と委託契約し即応できる体制にした。また道路内の水道施設修繕を年度初めに入札で決定し、市民の苦情に即応できる体制にした。	

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

<p>老朽度の進んだ配水管及び漏水頻度の多いものの布設替</p>
----------------------------------

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	給水管理事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	給水申込者からの申請(新規・改造)依頼を受け
手 段	申請書の審査・許可及び施設の完了検査をして
想定する成果	給水を開始する

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
申請件数	818件	698件	728件
検満メータ取替	4799件(市2377, 委託2422)	4506件(市2513, 委託1993)	4939件(市4939, 委託0)
給水装置件数	30,921件	31,197件	31,925件

成果指標

成果指標名	給水申請率	検満メータ取替率
成果指標の説明	申請件数 / 給水装置件数 × 100	検満メータ件数 / 給水装置件数 × 100

事業の進捗状況 ( 水道企業会計 ) (千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	2.3%
	実績	2.6%	2.2%	-
成果指標	計画	-	-	15.5%
	実績	15.5%	14.4%	-
事業費	事業費	6,502	5,127	196
	人件費	29,763	31,136	25,245
	(人数)	3.7	4.0	3.2
	合計	36,265	36,263	25,441
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	36,265	36,263	25,441

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	2	3	2	給水申込処理は達成している。
経済効率性	3	3	3	3	H19年度以降は、経費としてはほぼ人件費のみである。
事務効率性	2	2	2	2	申込み件数により事業量が変動するがほぼ安定している。
必要性	3	3	3	2	顧客の拡大として重要な事業である。
小計	11	10	11	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	水道事業においては重要な事業である。
合計	14	10	14	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	B
------	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成19年1月より受付業務の委託化に伴い、開閉栓業務も委託業者へ移ったため検満メータ取替業務の全数を職員で処理することによる、経費の節減	

今後改善すべき点

給水調書(新規・改造)のGISへの即時入力
-----------------------

平成20年度予算に反映する項目

給水管の維持管理の向上を図る為、調書入力業務の委託化
----------------------------

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2217
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	受託事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	他事業者のために
手 段	その推進する事業に伴う支障移転の依頼を受け、布設替えをすることで
想定する成果	他事業の促進が図られつつ、管路の更新がなされ漏水防止につながる。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
実施件数	2件	4件	1件
布設替延長	325m	944m	87m
管路延長	604,388m	607,178m	610,235m

成果指標

成果指標名	更新率	事業率
成果指標の説明	布設替延長/管路延長 × 100	事業費/予算額 × 100

事業の進捗状況 （ 水道企業会計 ） （千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	0.1%
	実績	0.5%	1.6%	-
成果指標	計画	-	-	0.6%
	実績	2.2%	8.7%	-
事業費	事業費	12,895	34,121	4,000
	人件費	5,631	4,670	5,522
	(人数)	0.7	0.6	0.7
	合計	18,526	38,791	9,522
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	18,526	38,791	9,522

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	依頼者の事業計画どおり進捗している。
経済効率性	3	3	3	3	直接工事費及び事務費を受託時の収益収入としている。
事務効率性	3	3	3	3	専門的な知識が必要である。
必要性	3	3	3	3	水道事業としてはメリットの少ない事業であるが、依頼事業者としては重要な事業である。
小計	12	12	12	12	
施策への貢献度	2	-	2	-	水道事業としての計画性は低い事業である。
合計	14	12	14	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
17年度から鑄鉄直管のモルタルライニング管を粉体ライニング管に変更したことにより、水質の保持及び洗管水量の減並びに現場作業の軽減が図れた。	

今後改善すべき点

依頼事業者と綿密な施工工程調整が必要である。
------------------------

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2217
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	配水管整備事業（他課関連工事）				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	送・配水管について
手 段	都市計画事業が進捗することにより、道路整備が図られ水道管を布設することで
想定する成果	配水管網の整備が進み、安定給水が図れる。

事業の概要

項 目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画	
新 設	7件	延長 L=565m	1件	延長 L=285m	5件	延長 L=920m
布設替	2件	延長 L=432m	10件	延長 L=846m	5件	延長 L=900m
管路延長	604,388m		607,178m		610,235m	

成果指標

成果指標名	整備率	整備率
成果指標の説明	配管延長/管路延長 × 100	事業費/予算額 × 100

事業の進捗状況 （ 水道企業会計 ） （千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	0.3%
	実績	0.2%	0.2%	-
成果指標	計画	-	-	12.0%
	実績	6.1%	8.6%	-
事業費	事業費	36,493	33,411	87,100
	人件費	8,848	6,227	7,889
	(人数)	1.1	0.8	1.0
	合計	45,341	39,638	94,989
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	45,341	39,638	94,989

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	新設、改良工事の埋設計画どおり進捗している。
経済効率性	3	3	3	3	浅埋設を採用し、土工事費の節減を図っている。
事務効率性	3	3	3	3	専門的な知識が必要である。
必要性	3	3	3	3	道路計画の進捗に伴う開発区域内の安定給水に努める。
小計	12	12	12	12	
施策への貢献度	2	-	2	-	他事業計画に合わせて埋設計画を立て事業を進める。
合計	14	12	14	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
17年度から铸铁管直管のモルタルライニング管を粉体ライニング管に変更したことにより、水質の保持及び洗管水量の減並びに現場作業の軽減が図れた。	

今後改善すべき点

他課と計画、施工時期等を綿密に協議して早期発注早期完了を図る。
---------------------------------

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】



## 平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道工事課	内線等	2212
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	配水場施設改良事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	配水場・ポンプ場施設の
手 段	改良事業を施工することにより
想定する成果	水道の安定給水が図られる

事業の概要

項 目	平成17年度実績		平成18年度実績		平成19年度計画	
配水池	1件	79,829千円	2件	72,355千円	1件	161,000千円
その他施設	5件	8,409千円	6件	21,135千円	2件	23,700千円
電気計装設備	7件	57,337千円	7件	48,254千円	9件	106,200千円

成果指標

成果指標名	施設更新率	
成果指標の説明	事業費 / 増補改良費 × 100	

事業の進捗状況 （ 水道企業会計 ） （千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	40.4%
	実績	19.8%	20.9%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	145,627	141,789	290,936
	人件費	5,631	6,227	4,733
	(人数)	0.7	0.8	0.6
	合計	151,258	148,016	295,669
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	151,258	148,016	295,669

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	老朽化施設の改良（配水池）は目標どおりに進んでいる。
経済効率性	2	2	2	2	施設によって耐用年数が違い、電気機器等突然異常となるものもあり更新計画で対応必要
事務効率性	2	2	2	2	専門職以外の職員で対応するものがあり苦慮
必要性	-	3	-	3	耐用年数を踏まえた更新をする必要
小計	7	10	7	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	水道の安定給水には重要な事業である
合計	10	10	10	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	B

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
既施設（配水池）の耐震診断に基づく、老朽化施設の改築及び老朽化機器の更新	

今後改善すべき点

耐用年数の過ぎた機器更新計画を作成し、予算に反映する。
-----------------------------

平成20年度予算に反映する項目

更新計画に基づき機器の更新を図りたい。
---------------------

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】